

はろー ばらんていあ

Harobora

2016年 2017年

12・1月

合併号

NO.209

配布・GM・GL以上（グループ・組内回覧）
人事部配布承認済

★ トヨタボランティアセンター機関誌 ★

ALL TOYOTA
Big Holiday

社会貢献 ふれあいプラザ

オールトヨタ14社から集まった125名のボランティアが参加し、本年から新しいネーミングとなったこのイベントを盛り上げました！今回は、熊本被災地応援コーナーを新たに設けたほか、2020年の東京パラリンピックを見据え、障がい者スポーツ競技7つの体験ブースや義足体験ブースを催しました。

10月23日(日)
トヨタスポーツセンター

熊本名産品の試食では
おいしい笑顔がいっぱい！
復興の力になれて
貴重な経験でした

笑顔で元気に楽しみました！

くまモン紙袋4つ分のお土産を
買って職場（東富士）に帰り、
震災復興をPRしました！

「東北の支援になるの？」と
聞いた後、
買ってくださったお客さん。
応援する気持ちを持った人と
話ができて嬉しかった

パラスポーツ体験を通して、
アスリートがいかに努力家で
鍛えられているかを
実感いただけたと思います。
もっと多くの人がパラリンピックに
興味を持ってもらえたらいいですね！

くまモンが復興応援の
おれにきました！

今年も心をこめて焼き上げます！



5年目の大船渡サシマ祭り

ポッチャ

社内で今、注目の競技
奥が深くおもしろい！

ブラインドサッカー



ボールの鈴音を
聞いてシュート！

フライングディスク



何回ゴールに入るかな

車いすバスケット



座るとゴールが
高くボールが
届かないよ～

ブラインド
ボクシング

知ってます？
一度体験しませんか？

義足体験



こんなに難しい
ものとは！
アスリートはすごい！

CONTENTS

ALL TOYOTA Big Holiday	
社会貢献 ふれあいプラザ	1
トヨタグループ・関連会社16社	
東日本大震災	
被災地復興支援ボランティア活動	2～4
トヨタ白川郷自然学校 茅刈り活動	4
第4回トヨタバリアフリー講座	5
スペシャルオリンピックス日本・愛知	
夏季地区大会	5
MSカンパニー ボランティアデー	
矢作川河川敷 竹林伐採とクリーン活動	6

2016年 技能専修コース(1コース)	
ベルマーク147,777.1点を被災地へ寄贈	6
ボランティアサークルが受賞!!	6
工場・事業所窓口のボランティア活動	
三好工場 EX会三好支部 交通安全ふれあい活動	7
士別試験場 南富良野町 復旧支援活動	7
社内団体のボランティア活動	
翔の会/(株)豊田自動織機 係長会合同	
遊具ペンキ塗りボランティア	7
全社収集ボランティアキャンペーン実施中!	8



<ハロちゃん>

トヨタボランティアセンターの
シンボルマークです

第4クール

9月30日(金)～10月3日(月)
岩手県北上市・陸前高田市・住田町

大きな声で!



応援をサポートします



応援用のバルーンを配布



カップの試合を体験



対戦相手と握手で
健闘を称えます

参加ボランティア



震災から5年が経っても、未だ癒えぬ震災の傷跡を目の当たりにして、多くの方の応援が今後も継続的に必要であることを実感しました。

いわて国体開会式では岩手県庁の方などのスタッフと連携して、地元の小中学生と一緒に全国から集まった選手へ激励と感謝の声を強く伝えることができ、みんなを笑顔にできた充実した活動となりました。

今回初めての参加でしたが、これからも「恩返し活動」として微力ではありますがボランティア活動に取り組んでいきたいと思っています。



電子制御基盤技術部
脇本 隆之さん

トヨタグループ・関連会社16社

東日本大震災 被災地復興支援

第6クール

10月21日(金)～10月25日(火)
岩手県北上市

選手団を笑顔でお見送り



学生へカイロと
応援グッズを配布



生徒へ配るパネルを
セッティング



「そばっちゃん」を着た
ボランティアを安全に誘導



トヨタ自動車東日本と
大会実施本部員のみなさんと

岩手特産物の出展広場で、言葉でのコミュニケーションが難しい選手の方から会場の道を尋ねられ対応した際、一生懸命にお礼を言って感謝してくださる姿に心が熱くなりました。また、津波伝承館や語り部さんから、震災から5年が経過した現状を聞き、これらを少しでも多くの方に伝え、この活動を継続し、被災者に寄り添う姿勢こそが復興への架け橋になっていくのだと感じました。

下山工場 第1エンジン製造部
青山 昌嵩さん



ボランティア活動

2011年6月より始まった活動も今年で6年目。
全8クールの活動にトヨタから33名
(16社では196名)のボランティアに
参加いただきました。



第5クール

10月10日(月・祝)～10月12日(水)
岩手県北上市・陸前高田市

1,600名分のお弁当を運搬・配布



ボランティアの
合図で選手に
声援を送ります

りんごの玉回し



太陽に当たるよう
慎重に回します

トヨタ自動車東日本(株)の
ボランティアも一緒に参加しました



震災後、被災地初の「国体」や「りんごの玉回し」のお手伝いで岩手の方々と触れ合い、楽しく活動することができました。また、津波で被災した場所や建設途中の防潮堤などを回り、津波が迫ってくる状況聞き、被害の大きさを目の当たりにして、少しでも被災された方の思いを理解することができました。今後も継続的に被災地へ行くことで、被災された方が少しでも元気になるお手伝いができればと思います。



ITマネジメント部
愛甲 綾子さん

第7クール

10月28日(金)～10月31日(月)
岩手県陸前高田市・住田町

ボランティア8名は、中上仮設住宅の入居者の方々とそば打ち交流会や、トヨタ自動車東日本(株)ボランティア16名とともに11月下旬の収穫に向けたりんごの玉回しをお手伝いし、地元の方々と交流を深めました。また、住田町で毎年行われる秋の恒例行事「すみだ産業まつり」では、トヨタグッズの販売や地元出展ブースをお手伝いし、お互いの地域の特色について理解を深めました。



心を込めて
おそばを打ちます



おいしくできたね



落とさないよう
慎重に回します



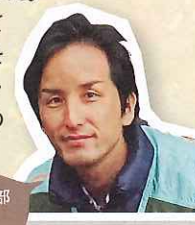
トヨタミュージアムショップ開店!

いらっやいませ～

当時のまま残る道の駅の建物や語り部さんのお話には胸が締め付けられました。地元の方とイベントと一緒に楽しんだり、農作業をお手伝いしながらたくさんお話ができたことは大変有意義でした。

こういった活動を続けていくこと、そしてあの日を忘れないよう現地で見た状況・感じたことを、活動後も自分の言葉で伝えていきたいです。

東富士研究所 電子先行開発部
洞 泰志さん



第8クール

11月25日(金)～11月27日(日)
岩手県陸前高田市・住田町

トヨタグループ・関連会社16社
東日本大震災
被災地復興支援
ボランティア活動

ボランティア8名は、住田町で空家となった仮設住宅を解体するお手伝いを行いました。解体した木材は、大船渡市の漁港で観光客が海産物を味わえる交流スペース拡張のために再利用されます。また、トヨタ自動車東日本(株)10名も加わり、6月の摘果からお手伝いしてきたりんごの収穫を行いました。活動中には震災当時の様子や復興へ向けた今後の取り組みなど、様々なお話を伺うことができ、継続した支援の大切さを感じながら、今年最後の活動を終わりました。



中上仮設住宅
の解体



ねじを外して
床材をはがします



ついに収穫!



赤々としておいしそう



地元の方とたくさん交流できました

津波で流された場所には未だに何も建物がなく、元の姿へ戻るには多くの方々の力が必要と感じました。TVで見る現状と、実際に行くことで感じる現状には大きく乖離があり、自身の体を使って復興支援に参加することの重要性を学ばせていただきました。

一方で、被災された方々の心の強さや優しさは際立っており、助け合いの精神が息づいています。人の心が強くあり続けているからこそ、元の形に向かって進み続けるだろうと感じることができました。



元町工場 品質管理部
松本 章宏さん

トヨタ白川郷自然学校

茅刈り活動

10月29日(土) トヨタ白川郷自然学校

世界遺産白川郷にあるトヨタ白川郷自然学校は、自然と地域との共生を大切に、地域に根差した環境プログラムを提供し、環境保全に貢献する施設です。敷地内には、伝統の合掌造りの屋根に葺かれる茅が育つ茅場があり、毎年春に整備をし、秋に刈取り、乾燥させ、茅の葺き替え時に使用されます。

従業員ボランティア23名は自然学校のスタッフとともに汗を流し、馬狩の自然を満喫しました。

オリエンテーション



インタープリターから説明を受けます

立派に育った
茅を刈る

刈った茅を縛り、
3本まとめて立てる



茅場がどんどん綺麗に



技術管理部 山口 政喜さん
(左は妻の真美さん)



かやぶき
茅葺一軒に使う茅はトラック1,000台ほどが必要とのこと。切り株に足を取られながら、悪戦苦闘しても遠くおよばない量に、先人の苦労を垣間見ることができました。形ではなく、世界遺産を守る文化と力を、体験できた有意義な1日となりました。

気持ちのよい汗を流しました



9月25日(日) 豊田市福祉センター

視覚障がいを知ろう

第4回 トヨタバリアフリー講座

第4回は、視覚障がい者をテーマに実践教室を行い、従業員とその家族20名が参加しました。前半は、NPO法人視覚障害者センター「つえの里」の理事長で全盲の篠澤 國雄さんと、盲導犬と生活する古家千恵美さんが講話。後半は、参加者が2人1組でアイマスクをつけて、階段の昇降やコップに飲料を注ぐ練習、トイレの利用などを体験。目が見えない不便さを実感するとともに、白杖や盲導犬は補助になるけれど、「何かお困りでないですか」という声掛けが何よりの助けになることを学びました。



点字を
ながら話す
篠澤さん

盲導犬のデュークとともに
歩行を見せる古家さん



アイマスクをして
食事内容を説明します



階段は一段ずつ
ゆっくり進みます

8月に東京の地下鉄で盲導犬を連れた目の不自由な人が線路に転落して亡くなった事故を受けて、何かできることがあればと思い参加しました。盲導犬は優秀だけど万能ではなく、周りの人の声掛けや案内が大切だと学びました。

社会貢献推進部 今堀 里佳さん
(手前は息子の孔稀くん)



スペシャルオリンピックス日本・愛知 夏季地区大会

11月13日(日) トヨタスポーツセンターほか

知的障がいのある人たちが日ごろの練習の成果を発揮する場として毎年開催され、本年は約160名のアスリートが陸上、水泳、ボッチャ、テニスなど8種目の競技に参加しました。トヨタグループ(株)の社員が選手として出場したほか、従業員がボランティアとして試合のサポートや応援で大会を盛り上げました。

表彰式では参加したアスリート全員が笑顔で台に立ち、来年のこの大会、そして再来年の愛知ナショナルゲームでの活躍に向け、大きな拍手が送られていました。



緊張するアスリートに
寄り添い聖火点灯!



活動前にルール
の講習を受けます



あのゴールに向かって
ボールを蹴るんだよ

子どもたちに
丁寧に教えます



表彰式では
アスリート全員が表彰台上に上がります



スペシャルオリンピックスの存在自体を知らなかったもので、すべてが新鮮でした。一生懸命に競技している姿にパワーをもらいました。

ボッチャを初めて知りました。体験会にも参加し、簡単に誰でもできるけど、とても戦略的な楽しい競技だと思いました。

MSカンパニー ボランティアデー

矢作川河川敷 竹林伐採とクリーン活動

11月12日(土)

豊田市矢作川河川敷、豊田スタジアム周辺

ボランティアデーは、恩返し活動の一環として、いつも支えてくださっている地域の方々への恩返しに、MSカンパニー※が一丸となって取り組むボランティア活動です。MSカンパニー吉田専務役員ほか、メンバーとご家族の皆さま約500名、豊田市役所の皆さま、関係者の方々あわせ、総勢約600名の方にご参加いただき、矢作川河川敷の竹林整備と豊田市駅周辺のクリーン活動を行いました。※Mid-size Vehicle Company



親子で竹伐りにチャレンジ!

約7,000本も伐採



3コースに分かれてゴミ拾い



みんなでやると楽しいね



いい汗かいたな~

MSカンパニー発足から約半年。お世話になっている地域・関係者の方々への感謝の気持ちを込めて活動に取り組みました。きれいになっていく竹林・街並みに参加者も笑顔あふれる1日となりました。

今後もカンパニーを挙げて、社会貢献活動をはじめとする恩返し活動に取り組んでまいります。



MS統括部
(左から)浅野 英朗さん、伊藤 幸子さん、西山 奈緒子さん、水谷 完さん

2016年 技能専修コース(1コース)

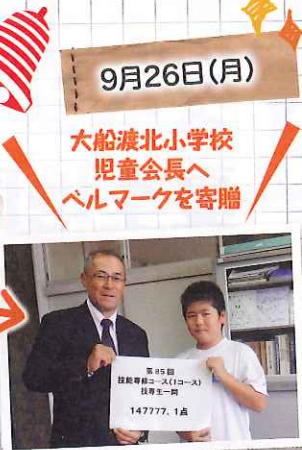
ベルマーク147,777.1点を被災地へ寄贈

東日本大震災の復興支援活動として、2016年(第85回)技能専修コース(1コース)75名がベルマーク147,777.1点を収集し、岩手県大船渡北小学校へ寄贈しました。

昨年寄贈したものは、運動会で使用する大縄や玉入れなどの道具購入に充てられました。今後、校庭の仮設住宅が撤去され、来年には震災後初めて自分たちの校庭で運動会が実施できるようになるそうです。復興に向けて一歩ずつ進む小学校の一助になれたらうれしいですね。



技専生たちの“思い”を
トヨタボランティアセンターが
お預かり



9月26日(月)

大船渡北小学校
児童会長へ
ベルマークを寄贈

ボランティアサークルが受賞!!

社会福祉活動などの実践者を顕彰し、さらなる社会福祉の輪の広がりを祈念して行われた第36回豊田市社会福祉大会(主催:豊田市ほか)において、トヨタボランティアセンター所属のボランティアサークル「家具転倒防止サークル」と「JDRトヨタ」が長年のボランティア活動に対し、豊田市社会福祉協議会 会長表彰、ボランティア活動功労者賞を受賞しました。



表彰式

11月26日(土)

豊田市福祉センター



各サークル代表のみなさん

EX会
三好支部

交通安全ふれあい活動

10月1日(土) トヨタ会館
ボランティア8名参加

交通安全教室から新たな気づきを得ることで、交通事故の未然防止につなげたいという思いで、トヨタ会館にご来館されたお客様を対象に、交通安全教室を行いました。反射材の作成など、様々な模擬体験を行っていただきました。



反射材効果を体験



飲酒体験



死角体験

士別試験場

南富良野町 復旧支援活動

南富良野町では、8月の台風で河川が氾濫し、町一帯が家屋倒壊や浸水の被害を受けました。1カ月過ぎても「平日はボランティアが少なく、復旧が思うように進んでいない」と聞き、活動に参加しました。河川でのゴミ拾いや福祉施設での汚泥除去など重労働もありました。既に雪が積もる季節になりましたが、少しでも早い復旧を願うばかりです。

10月1日(土)・6日(木)・11日(火)・
29日(土)・30日(日)
北海道南富良野町 幾寅地区
トヨタよりのべ9名(全体:33名~132名)参加



河川の氾濫で道路が寸断
写真は「南富良野町
災害ボランティアセンター」より

濁流に浸かった
いすを洗浄してから
消毒します



一緒に作業した
施設の職員さんと
記念撮影

被災地を訪れると河川付近の崩落や住宅の浸水跡など、自分が思っていた状態よりも復旧が進んでおらず痛々しい街の状態に心が痛みました。そんな中でも、私たちボランティアを見かけて明るくお声掛けをしてくださる住民の方々に温かく歓迎していただき、元気をもらえました。



士別試験場
車両技術開発部
石原 寛久さん

社内団体のボランティア活動

翔の会 / (株)豊田自動織機 係長会合同

遊具ペンキ塗りボランティア

11月6日(日)
豊田市立堤小学校

翔の会では地域の方への日ごろの恩返しとして、ボランティア活動を進めています。今年は、昨年度よりトヨタグループ内連係強化の一環として交流している(株)豊田自動織機 係長会のメンバーと、地域貢献活動として刈谷市に近い堤小学校で遊具のペンキ塗りを実施しました。



よじ登り、バランスを
取りながら塗っていきます



参加メンバー

予想以上に大きい遊具に圧倒され、慣れない作業に四苦八苦しながらも、参加者同士すぐに意気投合し、一丸となって遊具を塗り上げました。作業を通じて大きな達成感を得るとともに、双方の交流を深めることができ、非常にいい場とすることができました。

今後も、地域の方への感謝の気持ちを忘れずに、私たちにできることをしっかりと行っていきたいと思います。

第2トヨタ企画部
野村 智史さん



全社収集ボランティア キャンペーン実施中!

職場単位でも
気軽に社会貢献を!

実施期間 2017年1月末まで

収集物を送って世界の子どもたちに笑顔届けよう!

普段何気なく捨てているもの、身近にあるものの中に、社会で役立つものがあります。
みなさんの温かい気持ちが世界の子どもたちの大きな力になります。ご協力お待ちしております!

みなさん一人ひとりの
ご理解とご協力が、
大きな支援の力に
変わります

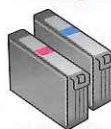
ベルマーク・使用済み
インクカートリッジを集めて、
子どもたちに苗木を贈ろう!!



ベルマーク

100点で苗木1本分

収集物



家庭用インクジェットプリンター用

使用済み インクカートリッジ

20個で苗木1本分



公益財団法人オイスカ(OISCA)

EPSON Canon
EXCEED YOUR VISION
※インクカートリッジは上記ブランド
の純正品に限らせていただきます。



海外で進めている「子供の森」計画の支援ができます!

「子供の森」計画とは、世界中の子どもたちによる、学校単位の新しい森づくり運動です。子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植え、育てていく実施活動を通じて、「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていくというプログラムです。

ハガキを集めて子どもたちが
学校に通えるよう応援しよう!!



書き損じ 官製ハガキ

400枚=約14,400円



経済的貧困のため教育の機会に恵まれないラオス、カンボジア、タイ、ベトナム、ミャンマーの子ども1人を1年間学校に通えるようにすることができます(ダルニー奨学金)。

公益財団法人国際センター

切手やコインを集めて、
母と子の健康と命を守ろう!!



使用済み切手

国内切手1kg=約1,390円

海外切手1kg=約6,000円

2,000円(使用済み切手 約1.5kg)で、1人の女性が保健施設で助産師の立会いのもと、安全に出産することができます。



外貨コイン1kg=約1,200円

世界では、今なお1日に830人の女性が妊娠や出産が原因で命を落としています。その99%が開発途上国の女性です。妊産婦と女性の命と健康を守る活動のための資金の一部として活用させていただきます。



© Miki Tokairin

国際協力NGOジョイセフ

本を集めてアジア・アフリカの
子どもたちへ読書をする喜びを
届けよう!! 本20冊=10冊プレゼント*



BOOK BATON PROJECT

眠っているあなたの本で社会貢献



本が20冊集まったら子どもたちに本を10冊プレゼントできます。アジア・アフリカの多くの地域では児童書はとても貴重なものです。ルーム・トゥ・リードは子どもたちの母国語で書かれた、その国の文化や年齢にふさわしい図書を出版しています。100円で1冊の本が新たに子どもたちの本棚に加わります。

*買い取り価格が1冊50円の場合



写真提供:特定非営利活動法人 ルーム・トゥ・リード

本の送付につきましては、直接、バリューストックへご連絡をお願いします。

TEL:0120-826-295

本の収集のみ、トヨタボランティアセンターでは受付しておりませんのでご注意ください。

詳細は各自に配布されています「チラシ」をご覧ください。既に参加されて「チラシ」の無い方はご連絡ください。

内線:811-3-3584 Mail:ac-V8686@mail.toyota.co.jp

社会貢献推進部 コミュニティリレーション室 環境・社会活動G トヨタボランティアセンター 森脇・高木まで

トヨタ公式企業サイトにバックナンバーが掲載されております
(2011年5・6月合併号以降)。是非ご覧ください!【時間外閲覧】

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/volunteer/opportunity/v_hello/index.html

はろーばらんていあ

チェック!



配布先、部数の変更がございましたら ac-V8686@mail.toyota.co.jp までご連絡ください。

はろーばらんていあ
Harbor

2016年12月・
2017年1月合併号
No. 209

発行

●本社:社会貢献推進部 コミュニティリレーション室 環境・社会活動G(トヨタボランティアセンター) ●住所:〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1番地
●電話:内線)811-3-3589 外線)0565-23-3589 ●FAX:内線)811-3-5748 外線)0565-23-5748 ●E-mail:ac-v8686@mail.toyota.co.jp
●HP: <http://nt-wave.mx.toyota.co.jp/tmc/98/volunteercenter/StaticPages/OP.aspx>(各部→28歩外・広報→社会貢献推進部→ボランティアセンター活動のご案内)
●発行部署:社会貢献推進部 コミュニティリレーション室 環境・社会活動G ●発行人:布垣直昭 ●編集人:大沼和彦 ●印刷:トヨタグループ(株)